

# 第55期 中間報告書

平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで



## 株主の皆さまへ



代表取締役社長・CEO 河合 利樹

## 目次

株主の皆さまへ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
事業の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
主要な事業内容及びセグメント別の概況・・・	3
特集① 平成30年3月期 中間期トピックス・・・	5
特集② 当社グループ事業拠点のご紹介	
東京エレクトロン宮城㈱ ・・・・・・・・	7
■ 連結財務諸表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
■ 株式の状況 ・・・・・・・1	2
■ 会社の概況等1	3
株主 乂王	4

株主の皆さまには、平素より格別のご支援 を賜り厚く御礼申しあげます。

第55期中間期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)報告書として、事業の概況等をご報告するにあたり、ご挨拶申しあげます。

第55期中間期の連結業績は、引き続き高い 水準を維持し、売上高、利益ともに前年同期を さらに上回る結果となりました。これもひとえ に株主の皆さまのご支援の賜物と感謝をしてお ります。

IoTの進展に伴う高度ネットワーク社会の立ち上がりにより、半導体製造装置市場はさらなる成長、拡大が期待されております。この成長著しい事業環境のなか、市場成長以上の売上高、利益の伸長を目指します。当社の掲げる『革新的な技術力と、多様なテクノロジーを融合する独創的な提案力で、半導体産業とFPD産業に高い付加価値と利益を生み出す真のグローバルカンパニー』というビジョンのもと、当社グループは持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご 支援とご理解を賜りたく、よろしくお願い申し あげます。

平成29年11月

## 事業の概況

当中間期につきましては、着実な景気回復の 続く米国経済に加え、中国などアジア地域の 景気拡大も継続しており、世界経済全体は緩 やかな回復傾向が続いています。

当社グループの参画しておりますエレクトロニクス産業におきましては、データセンター向けサーバの需要によりメモリの需要が大きく伸長したほか、ロジック系半導体などの出荷額も増えており、半導体・電子部品の市況は好調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当中間期の連結業績は、売上高5,169億7千6百万円(前年同期比46.6%増)、営業利益1,233億1千8百万円(前年同期比105.5%増)、経常利益1,230億6千6百万円(前年同期比97.3%増)、また、親会社株主に帰属する当期純利益は906億6千8百万円(前年同期比116.1%増)となりました。

#### ■連結業績推移







親会社株主に帰属する当期純利益

20年3月期 27年3月期 28年3月期 29年3月期 3**0年3月**期 (第51期) (第52期) (第53期) (第54期) (**第55期**) (注) △は損失を示しております。

(注) △は損失を示しております。

## 主要な事業内容及びセグメント別の概況

当社グループは、エレクトロニクス技術を利用した半導体製造装置及びFPD (フラットパネルディスプレイ) 製造装置の製造・販売を事業の中心としております。

#### 半導体製造装置

#### ■事業の状況

伸長するサーバ需要に伴い、需給の逼迫しているNANDフラッシュメモリやDRAM などのメモリ向け設備投資が引き続き活発に行われました。また、ロジック系半導体 についてもサーバ向けの先端開発投資が行われており、半導体製造装置市場は好調に 推移しました。このような状況のもと、当セグメントの当中間期の外部顧客に対する 売上高は、4,877億4千3百万円(前年同期比49.2%増)となりました。

#### ■主要営業品目

- ■コータ/デベロッパ
- ●エッチング装置
- ●熱処理成膜装置
- ●枚葉成膜装置
- ●洗浄装置
- ●ウェーハプローバ













#### FPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置

#### ■事業の状況

中国において、テレビ用大型液晶パネル向けの設備投資や、モバイル機器用の中小型有機EL・液晶パネル向けの設備 投資が継続しており、FPD製造装置市場は好調に推移しました。このような状況のもと、当セグメントの当中間期の外 部顧客に対する売上高は、290億2千4百万円(前年同期比13.9%増)となりました。

#### ■主要営業品目

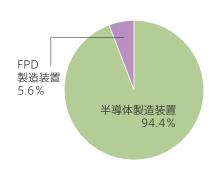
- ●FPDエッチング/アッシング装置
- ●FPDコータ/デベロッパ



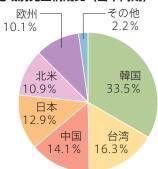
#### その他

上記2セグメントに含まれない事業における当中間期の外部顧客に対する売上高は、2億8百万円となりました。

#### ■連結 セグメント別売上構成比(当中間期)



#### ■連結 地域別売上構成比(当中間期)

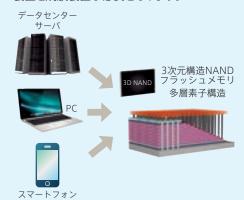


## 特集① 平成30年3月期 中間期トピックス

## エッチング装置、成膜装置に大きな事業機会

IoT時代の到来によりデータ量が増加し、これに伴いサーバやPC、スマートフォンなどに搭載される記憶装置に、3次元構造のNANDフラッシュメモリの採用が加速しています。

この多層構造のデバイスには、エッチング 装置と成膜装置が必要となります。





#### 東京エレクトロン宮城㈱に新開発棟、新物流棟建設

今後のさらなるエッチング市場拡大に向けて、高付加価値製品の開発と生産性向上を 加速してまいります。



### 東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ㈱が誕生

2017年7月、成膜市場における製品競争力のさらなる強化と、開発の効率性、業務の生産性を向上させることを目的とし、東京エレクトロン山梨㈱と東京エレクトロン東北㈱を合併して、東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ㈱が誕生しました。



### SEMICON Westに今年も出展

SEMICONは半導体製造装置・材料の国際展示会です。2017年7月に米国 サンフランシスコで開催された SEMICON Westでは、当社の東取締役相談役の基調 講演が行われました。

半導体業界を代表して、テクノロジーの進化とともに 迎える新しい時代のビジョンをテーマにプレゼンテーションを行い、当日は約700名の方にご聴講いただきました。





## 米国ハリケーン 「ハービー」の被害に対する義援金拠出

東京エレクトロングループは、米国テキサス州及び ルイジアナ州を襲った大型ハリケーン「ハービー」によ る被害状況を憂慮し、義援金として5万ドルを拠出しま した。



URL: www.tel.co.jp/news/2017/0911\_001.htm

## DJSI Asia Pacific銘柄選定

昨年に引き続き世界的な社会的責任投資の株価指標である「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・アジア・パシフィック・インデックス (DJSI Asia Pacific)」の構成銘柄に選定されました。

Dow Jones
Sustainability Indices
In Collaboration with RobecoSAM

URL: www.tel.co.jp/news/2017/0912\_001.htm

## 元素周期表 AR\*アプリのご紹介

理科教育(STEM)支援を目的に、楽しく学べる元素周期表を提供しています。

今回「ニホニウム」をはじめとする正式名称がついた元素を新たに掲載し、AR元素周期表をリニューアルしました。

\* AR(拡張現実): スマートフォンをかざすと画面の中に実際にはない写真や動画などが出てくるデジタル技術





元素周期表は専用の「東京エレクトロン」ARアプリを使うことで 元素カードのアニメーション動画をお楽しみいただけます。

URL: www.tel.co.jp/genso/

## **特集**② 当社グループ事業拠点のご紹介-東京エレクトロン宮城㈱-

当社主力装置の製造拠点である東京エレクトロン宮城㈱をご紹介します。



## 東京エレクトロン宮城株式会社

所 在 地:宮城県黒川郡大和町

代表取締役社長:北山 博文

主 要 事 業:半導体製造装置 (エッチング装置) の

開発・設計・製造

資 本 金:1億円

従 業 員:1,273名 (2017年7月1日現在)



プラズマエッチング装置 Tactras™

半導体製造工程のうち、半導体デバイスの3次元化に伴って市場の伸びが期待できるエッチング装置の開発・設計・製造を担っています。

当社のプラズマエッチング装置は、ウェーハ上の回路パターンに沿い、 装置内部のチャンバーの中で、プラズマ状態となったエッチングガスが 酸化膜などの薄膜をパターンに沿って削り取る機能を持った装置です。

2006年に市場投入した当装置は、高いコストパフォーマンスとチャンバーごとの再現性の高さにより世界市場で高い評価を得ています。

## よくわかる 東京エレクトロン宮城(株)

## 6回目

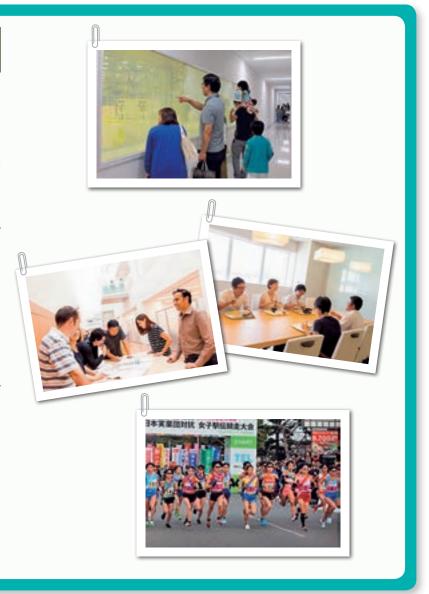
社員のご家族に日頃の感謝と仕事への理解を深めていただくことを目的に、2012年から毎年夏に「社員家族工場見学会」を開催しています。

# 16年

女性の平均勤続年数です。 あらゆる社員が働きやすい環境整備 を目指しています。

# 6年間

全日本実業団対抗女子駅伝競走大会に第31回大会より協賛しています。 たすきをつないで懸命にゴールを目 指す選手達を応援し、宮城県で開催 される本大会を支援していきます。



# 連結財務諸表連結貸借対照表

期別科目	第55期 中間期 (平成29年9月30日現在)	第54期 (平成29年3月31日現在)	増減
資産の部			
流動資産	833,204	775,938	57,265
現金及び預金	96,930	70,866	
受取手形及び売掛金	142,850	133,858	
有価証券	233,000	244,500	
商品及び製品	185,256	152,629	
仕掛品	61,441	51,112	
原材料及び貯蔵品	36,719	32,514	
その他	77,076	90,520	
貸倒引当金	△ 70	△ 63	
固定資産	197,921	181,508	16,412
有形固定資産	111,426	100,441	10,985
無形固定資産	16,412	15,401	1,010
投資その他の資産	70,082	65,666	4,416
その他	71,536	67,482	
貸倒引当金	△ 1,453	△ 1,816	
資産合計	1,031,125	957,447	73,678

		ı	(単位:百万円)
期別科目	第55期   中間期   <sub>(平成29年9月30日現在)</sub>	第54期	増減
負債の部	](+1,02545/13012 <i>1</i> ,0012	(干成29年3月31日祝任)	
流動負債	257,765	247,770	9,995
支払手形及び買掛金	83,537	79,217	
未払法人税等	34,112	31,069	
賞与引当金	25,110	21,853	
その他の引当金	12,385	10,470	
その他	102,618	105,159	
固定負債	65,405	63,677	1,728
その他の引当金	374	374	
退職給付に係る負債	56,607	55,825	
その他	8,422	7,476	
負債合計	323,171	311,447	11,724
純資産の部			
株主資本	682,477	628,543	53,933
資本金	54,961	54,961	
資本剰余金	78,023	78,023	
利益剰余金	557,220	503,325	
自己株式	△ 7,727	△ 7,766	
その他の包括利益累計額	20,705	14,551	6,154
その他有価証券評価差額金	14,338	10,788	
繰延ヘッジ損益	△ 170	59	
為替換算調整勘定	9,023	5,789	
退職給付に係る調整累計額	△ 2,486	△ 2,086	
新株予約権	4,503	2,620	1,882
非支配株主持分	268	284	△ 16
純資産合計	707,954	645,999	61,954
負債純資産合計	1,031,125	957,447	73,678

<sup>(</sup>注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

			(単位:白万円)
料目	第55期 中間期 (平成29年4月1日から) 平成29年9月30日まで)	第54期 中間期 (平成28年4月1日から) 平成28年9月30日まで)	 
売上高	516,976	352,722	164,254
売上原価	301,561	214,032	
売上総利益	215,415	138,689	76,725
販売費及び一般管理費	92,097	78,677	
研究開発費	46,062	39,805	
その他	46,034	38,871	
営業利益	123,318	60,012	63,305
営業外収益	1,663	2,483	△ 820
保険配当金	334	300	
為替差益	_	946	
その他	1,328	1,236	
営業外費用	1,915	131	1,784
為替差損	1,769	_	
その他	145	131	
経常利益	123,066	62,365	60,701
特別利益	73	50	23
固定資産売却益	73	43	
その他	_	6	
特別損失	829	7,994	△ 7,165
固定資産除売却損	292	91	
災害による損失	_	7,828	
投資有価証券評価損	536	0	
その他	_	74	
税金等調整前当期純利益	122,311	54,420	67,890
法人税等	31,615	12,426	
当期純利益	90,695	41,993	48,702
非支配株主に帰属する当期純利益	27	27	
親会社株主に帰属する当期純利益	90,668	41,966	48,702

<sup>(</sup>注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

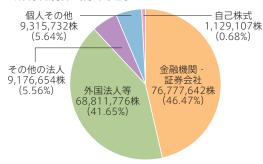
			(十四・ロノハコ)
料目	第55期 中間期 (平成29年4月1日から) (平成29年9月30日まで)	第54期 中間期 (平成28年4月1日から) 平成28年9月30日まで)	増減
税金等調整前当期純利益	122,311	54,420	
減価償却費	9,025	8,199	
のれん償却額	325	307	
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,161	5,900	
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,554	△ 745	
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 8,209	△ 37,023	
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 44,824	△ 15,353	
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,645	6,634	
未収消費税等の増減額(△は増加)	16,474	11,475	
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△ 1,230	△ 134	
前受金の増減額 (△は減少)	△ 4,742	29,410	
その他	980	8,986	
小計	97,470	72,077	25,392
利息及び配当金の受取額	715	659	
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△ 30,238	△ 20,729	
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,947	52,007	15,940
短期投資の増減額 (△は増加)	50,000	△ 5,201	
有形固定資産の取得による支出	△ 16,677	△ 9,631	
無形固定資産の取得による支出	△ 2,163	△ 320	
その他	113	85	
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,272	△ 15,068	46,341
自己株式の取得による支出	△ 3	△ 4	
配当金の支払額	△ 36,752	△ 18,371	
その他	△ 45	△ 1	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 36,802	△ 18,377	△ 18,424
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,145	△ 4,775	6,920
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	64,563	13,786	50,776
現金及び現金同等物の期首残高	164,366	95,638	68,728
現金及び現金同等物の期末残高	228,930	109,425	119,505
「現金及び現金同等物の期末残高」並びに短期投資等 合計額(注2)	329,930	255,657	74,272

<sup>(</sup>注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。 2. 現金及び現金同等物に含まれていない満期日又は償還日までの期間が3ヵ月を超える定期預金及び短期投資を加えた残高を示しており ます。

## 株式の状況 (平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数 300,000,000株 発行済株式の総数 165,210,911株 株主数 25,905名

#### ■所有者別株式分布状況

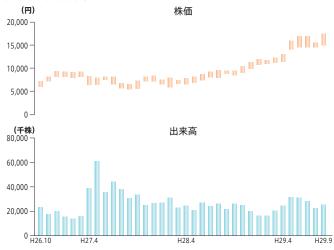


#### 大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	27,592	16.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	17,630	10.74
株式会社東京放送ホールディングス	7,727	4.70
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	2,972	1.81
ステートストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	2,729	1.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,517	1.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	2,420	1.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	2,247	1.36
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	2,082	1.26
ビーエヌワイエム ゴールドマン サックス ジヤパン	2,040	1.24

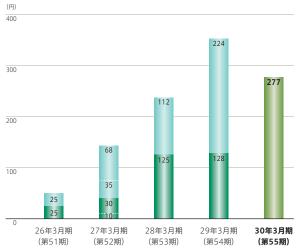
- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
  - 2. 持株比率は、自己株式 (1,129,107株) を控除して算出しております。 また、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
  - 3. 平成29年9月25日付で野村證券株式会社から公衆の縦覧に供されている変更報告書において、ノムラインターナショナルピーエルシー及びその共同保有者である他1社が平成29年9月15日現在、13,686千株所有している旨、平成29年7月21日付で三井住友信託銀行株式会社から公衆の縦覧に供されている変更報告書において、同社及びその共同保有者である他2社が平成29年7月14日現在、13,588千株所有している旨、平成29年6月19日付本株式会社三菱UFフィナンシャル・グルーブから公衆の縦覧に供されている変更報告書において、株式会社三菱東京UFJ銀行及びその共同保有者である他3社が平成29年6月12日現在、12,214千株所有している百貨である他3社が平成29年6月12日現在、12,214千株所有している「28年2月4日付でブラックロック・ジャパン株式会社から公衆の縦覧に供されている変更報告書において、同社及びその共同保有者である他6社が平成28年1月29日現在、10,252千株所有している旨、平成29年3月7日でアセットマネジメント〇ne株式会社から公衆の縦覧に供されている変更報告書において、同社が平成29年2月28日現在、9,162千株所有している旨が記載されておりますが、当社として平成29年9月30日現在の実質保有状況の確認ができない部分については、上記表に含めておりません。

#### 株価と出来高 (平成26年10月~平成29年9月)



#### 配当金の推移





- (注) 1. 平成28年3月期から配当性向を見直し、親会社株主に帰属する当期 純利益に対する配当性向50%を目処としております。
  - 2. 平成27年3月期は四半期配当を実施しております。

## 会社の概況等

#### 会社の概況 (平成29年9月30日現在)

商 号 東京エレクトロン株式会社

TOKYO ELECTRON LIMITED

設 立 昭和38年11月11日

資本金 54,961,191,468円

本 社 東京都港区赤坂五丁目3番1号

主要な事業所

府中テクノロジーセンター 東京都府中市住吉町二丁目30番地の7

大阪支社 大阪府大阪市淀川区宮原三丁目4番30号

山梨事業所

(藤井地区) 山梨県韮崎市藤井町北下条2381番地の1

(穂坂地区) 山梨県韮崎市穂坂町三ッ沢650番地

札幌事業所 北海道札幌市中央区南一条東一丁目5番

九州営業所 熊本県合志市福原1番地1

#### 取締役・監査役 (平成29年9月30日現在)

代表取締役会長	常石	哲男
代表取締役社長	河合	利樹
代表取締役	堀	哲朗
取締役	佐々木	大真夫
取締役	北山	博文
取締役	飽本	正巳
取締役	鄭	基市
取締役	長久係	R達也
取締役	春原	清
取締役相談役	東	哲郎
取締役(社外)	井上	弘
取締役(社外)	チャー	
	ディトマ レイク	
常勤監査役	原田	芳輝
常勤監査役	布川	好一
監査役(社外)	山本	高稔
監査役(社外)	酒井	竜児
監査役(社外)	和貝	享介

## 株主メモ

事	業	年	度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時	株	主総	会	事業年度終了後3ヵ月以内
基	準		日	定時株主総会については、毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
配当	支 払 株	主確定	日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単	元 株	式	数	100株
	I /3 II	理 人 及 莝管理機	び 関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便電	更物 说 話 照	送 付 <i>第</i> 会 <i>第</i>	_	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 ☎ 0120-782-031(フリーダイヤル)
単元買取	未満	株 式 求 取	の 扱	お取引証券会社等(特別口座で管理されている場合は特別口座の口 座管理機関である三井住友信託銀行株式会社)
公	告	方	法	電子公告 /電子公告アドレス http://www.tel.co.jp/ir/stocks/koukoku/ ただし、電子公告をすることができない事故その他のやむを得ない 事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
上場3	金融商	品取引	所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 8035)

#### 配当金のお支払いについて

第55期中間配当金は、同封の「配当金領収証」により、平成29年11月27日から平成30年1月12日までの間に、最寄りのゆうちょ銀行等でお受け取りください。金融機関預金口座振込・ゆうちょ銀行貯金口座振込をご指定の方には、同封の「配当金計算書」及び「お振込先について」のとおり、また、証券会社等の口座振込をご指定の方には、同封の「配当金計算書」及び「配当金のお受け取り方法について」のとおり振込手続きをいたしましたので、ご確認ください。





